

国立映画アーカイブ開館記念 映画にみる明治の日本 Inaugurating NFAJ: Meiji Period in Films

第1期：2018年4月24日(火) - 5月13日(日)

第2期：2018年8月14日(火) - 9月2日(日)

平素よりお世話になっております。国立映画アーカイブでは、開館記念上映第二弾として、「国立映画アーカイブ開館記念 映画にみる明治の日本」を開催いたします。明治維新 150 年にあたる本年、当館では所蔵フィルムの中から「明治」に関わる作品を選び出し、映画が「明治」をどのように描いてきたかを振り返ります。全体は、「明治期製作の記録映画」、「明治を描く《記録映画篇》」、「明治を描く《劇映画篇》」の3つのセクションから構成されています。明治期の人々や社会を記録した貴重な映像から、坂本龍馬や明治天皇、製糸工場で働く少女たちなどを描いた作品、また、鞍馬天狗や貫一とお宮、お鳶と早瀬主悦など、小説の主人公たちが活き活きと動く姿を通して、映画が描いた「明治」が立体的に浮かび上がることでしょう。会期は4-5月と8-9月の2期に分かれ、計36番組(56作品)を上映します。この機会にぜひ周知いただきますようお願いいたします。



明治天皇と日露大戦争

本特集の見どころ

実際に明治期に製作された映画や明治を描いた記録／劇映画など、さまざまなジャンルの作品を通して、映画が描いた「明治」を立体的に振り返ることができます。

1. 明治期に製作された映画——重要文化財作品『小林富次郎葬儀』（1910年）のデジタル復元版を初披露します。
2. 明治を描いた記録映画——一般社団法人京都映画芸術文化研究所が所蔵する『明治天皇 御大葬餘影』と『嗚呼乃木將軍』の17.5mmフィルムを35mmにブローアップして初披露します。
3. 明治を描いた劇映画——歴史・社会に重点を置いた第1期と文学作品の映画化を集めた第2期とに分かれ、骨太な歴史劇から悲運の恋愛劇まで、多彩なドラマを通して想像力豊かに「明治」を描きます。

■ 国立映画アーカイブ開館記念 映画にみる明治の日本 Inaugurating NFAJ: Meiji Period in Films

第1期 2018年4月24日(火) - 5月13日(日) 第2期 2018年8月14日(火) - 9月2日(日) *月曜休館

会場：国立映画アーカイブ 長瀬記念ホール OZU (2階) *大ホールは、2018年4月1日より長瀬記念ホール OZUと改称しました。

定員：310名(各回入替制・全席自由席)

料金：一般520円/高校・大学生・シニア310円/小・中学生100円/障害者(付添者は原則1名まで)、

東京国立近代美術館及び国立映画アーカイブのキャンパスメンバーズは無料

前売券：4月12日(木)10時より、チケットぴあにて全上映回の前売券(全席自由席・各100席分)を販売します。

各上映の前日23時59分まで販売。【Pコード：558-413】

購入方法や発券手数料等の詳細→<http://www.nfaj.go.jp/exhibition/meiji-201804/#section1-5>

掲載用のお問い合わせ先：03-5777-8600(ハローダイヤル)

本企画ウェブサイト：<http://www.nfaj.go.jp/exhibition/meiji-201804/>

【お問合せ】国立映画アーカイブ 上映展示室 白鳥・大澤・岡田

〒104-0031 東京都中央区京橋3-7-6 TEL:03-3561-0823 FAX:03-3561-0830 pr@nfaj.go.jp